

第4期 活 動 報 告 書

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

特定非営利活動法人 三陸ボランティアダイバーズ

活 動 報 告 書

自：平成26年 4月 1日

至：平成27年 3月31日

1. 活動の概況

(1) 活動の経過及び成果

水中作業

平成26年4月	20回	・マリンダイビングフェア2014にてPR ・越喜来湾にてワカメの刈り取り、塩蔵作業
平成26年5月	21回	・大槌町安渡漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・綾里漁港付近にて瓦礫の撤去作業
平成26年6月	16回	・雄勝湾にて瓦礫の撤去作業 ・NHK Worldにて周知活動
平成26年7月	14回	・大槌漁協とアワビの稚貝放流作業 ・綾里白浜海岸を清掃
平成26年8月	21回	・小石浜漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・南三陸町にて子供向けシュノーケリング教室 ・末崎漁協とアワビの稚貝放流作業 ・竹浦漁港付近にて瓦礫の撤去作業
平成26年9月	22回	・細浦漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・広島にてホタテ炊き出し ・大船渡湾内牡蠣養殖施設付近にて瓦礫の撤去作業
平成26年10月	8回	・釜石市平田漁港付近にてえびす像を探索 ・崎浜漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・小石浜漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・泊漁港にて瓦礫の撤去作業
平成26年11月	6回	・鬼沢漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・細浦漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・女川湾にて水中捜索
平成26年12月	7回	・越喜来湾にてホタテの養殖補助作業 ・浪板海水浴場清掃作業 ・大船渡市立博物館にて水中写真展開催 ・越喜来湾にてホヤの種苗採取作業 ・綾里漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・船越湾にてホヤの種苗採取作業 ・船越湾にて瓦礫の撤去作業
平成27年1月	8回	・綾里漁協のグリーンツーリズム補助作業 ・綾里漁港付近にて瓦礫の撤去作業

平成27年2月	14 回	<ul style="list-style-type: none"> ・上方水中映像祭りにて周知活動 ・大阪阪急梅田にて周知活動 ・バンコクにてジャパンエキスポに出展 ・広島にてホタテの炊き出し ・大槌浪板海水浴場のビーチ再生活動 ・鬼沢漁港付近にて瓦礫の撤去
平成27年3月	13 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ワカメの刈り取りボランティア ・グッドライフアワードにて周知活動 ・浪板海水浴場清掃作業 ・釜石市平田漁港付近にて瓦礫の調査 ・京都市内にて三陸海中写真展を開催
合計	170 回	

(2) 当団体が対処すべき課題

- ・三陸沿岸部の現状を知ってもらうために現地への参加を促し、情報を発信すること
- ・三陸漁業復興のために支援活動を継続していくために、資金を集めること
- ・NPO法人の事務機能を高めて、安定した運営を目指すこと

(3) 収支および財産の状況の推移

	平成26年4月1日 現在	平成27年3月31日 第4期
収 入 (千円)	8,332	1,388
経常利益または 経常損失(△) (千円)	730	△ 4,360
当期利益または 当期損失(△) (千円)	730	△ 4,360
1口当たり当期利益 または当期損失(△) (円)		
総 資 産 (千円)	6,078	7,311
純 資 産 (千円)	4,168	△ 192

* 各金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

2. 団体の概況 (平成27年3月31日現在)

(1) 主要な事業内容

東日本大震災により三陸沿岸部は甚大な被害を被り、漁業復興に向けた支援活動と破壊された自然環境の整備を行う。管轄の漁協と共に海岸、海底、河川での清掃、調査を行い漁場回復、漁港や河川の整備を図る。特にスクーバダイビング等の手法を用い、自治体で行う撤去作業、清掃作業でカバーできない海底の清掃・調査を行う。漁場回復、漁港、河川の環境整備は漁業関係者のみで無く、沿岸部の方々の生活に大きく影響し、被災地全体の復興に大きく寄与する。

(2) 主要な事業所

岩手県陸前高田市横田町友沼46イ

東京都品川区大崎3丁目1番1-1704号

(3) 社員の状況

25 名

(4) 理事及び監事

地 位	氏 名	主 な 職 業
理事長	佐藤寛志	ダイビングショップ経営
理事	越智隆治	写真家
理事	早乙女祐基	会社員
理事	竹林 真	会社員
理事	森 和太	自営業
監事	大場誠司	会社員